

日本生活文化史学会

入会ご案内

近年の歴史研究は、時代の表面にあらわれたものばかりでなく、それらを裏で支えてきた「生活」に研究の対象を拡げてきました。しかしながら、こうした生活文化を研究する試みは新しい動向であって、どうしても従来の歴史学・建築学・民族学・家政学といった領域にとらわれやすい状況にあります。「日本生活文化史学会」は、従来の学問をこえ、生活文化の歴史に関心をもつ人々が“暮らし”を中心に研究をすすめ、その成果を交流する場として、昭和57年7月に創立されました。

生活文化史学は、衣食住をはじめとする人間の生活文化の発展の流れを、特定の面に限定することなく、日常生活の中でそれがどのようにかかわりあってきたかを歴史的、総合的に考察しようとするものです。つまり、有名無名の人々が昔から生活をどのように工夫し、変化させ、発展させてきたのか、広い視野から生活の歴史全般をとらえようとする試みなのです。さらに、生活の歴史の研究を通して、過去、現在、そして未来にわたる人間の真の姿を探ろうとするものです。

会員は、歴史学の研究者だけでなく、人文科学・社会科学・自然科学・応用科学など歴史学以外にも日常生活と かかわりのあるあらゆる分野の個人・団体が参加しています。

活動

- 《大会》 毎年1回全国大会を開催多彩な研究発表と熱心な討論が交わされ、さらに理事会・総会・懇親会・見学会などを通じて会員相互の交流・交歓を深める。
- 《研究発表会》 不定期開催(発表者およびテーマと日時は会誌奥付を参照して下さい)
会員だけでなく、ゲストを招いての発表(気軽なテーマ)と自由な討論・情報の交換の場となっている。
- 《見学会》 随時、国内・国外の見学会・研修会を開催
- 《機関誌》 『生活文化史』(DESIGN OF LIFE 年1回発行・A5判・2段組み)
- 《年会費》 普通会员 7,000円
学生会員 4,000円
賛助会員 年間一口年額 20,000円以上